

2019年度

特定非営利活動法人かわうそ復活プロジェクト

総会 資料

2019年5月25日

八幡浜みなと みなと交流館 多目的ホール

# 平成 30 年度事業報告

平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人  
かわうそ復活プロジェクト

## 1. 特定非営利活動に係る事業

以下の事業を行いました。

### ① 自然・環境学習事業

- ・一般向けの勉強会として「自然に学ぶつどい」を、2/24(日)に「みなと交流館」多目的ホールにて、「獣を知って獣から守る」をテーマに、認定 NPO 法人四国自然史科学研究センターの研究者である葦田さんに、講演いただきました。
- ・セブン-イレブンみどりの基金から助成金を受けて、「愛媛の鳥図鑑 -山野編-」の作成・配布し、県下の小中学校および図書館や有識者に配布しました。
- ・定例観察会として、大洲城山周辺で毎月第 2 日曜日に観察会を継続的に開催しました。
- ・学校に向けて、総合学習などの自然体験活動へ講師を派遣しました。支援先は、大洲市立肱川小学校、内子町立内子小学校、内子町立立川幼稚園、内子町立こぼと保育園、県立大洲農業高校など。また、面河山岳博物館のトコロジスト関連講座の実践編として、9/22(土)に松田が講師を行いました。
- ・地域で行われる観察会に講師を派遣しました。支援先は、内子町大瀬自治センターと五十崎自治センター、NPO 法人内子未来づくりネットワークなど。
- ・八幡浜市民スポーツセンターで 11/17(土)に開催された「青少年のための科学の祭典」にブースを出展し、自然の不思議さや大切さを普及しました。
- ・八幡浜市役所で 6/22(金)に行われた八幡浜市鳥獣被害防止対策協議会に出席して、「2018 年 八幡浜市での哺乳類調査報告」と題して、イノシシの撮影頻度とニホンジカの北上について、お話しました。

### ② 自然・公園管理事業

- ・平成 23 年度に「堂ヶ谷トンボの里」の改修事業が「堂ヶ谷トンボの里をしらべる会」によって行われ、その後の管理作業に協力しました。

### ③自然修復・再生事業

- ・身近な水環境一斉調査(全国水環境マップ実行委員会主催)に協力するかたちで、河川等の水質調査を行いました。
- ・矢落川のオオフサモ(特定外来種)の除去実験を、大洲河川国道事務所 肱川出張所と大洲農業高校に協力して行っており、経過を観察しました。
- ・直翅目について、県 RDB にかかわっておられる方によると、八幡浜周辺はほぼ空白地帯となっているということなので、2019 年度に正式に調査することとし、調査地点を決めるために事前調査を行った。
- ・私設保護区である「サンクチュアリどんぐり」で、環境省の推進するモニタリングサイト 1000 の里地調査の一般サイトに登録して、生物調査を実施しました。調査項目は、植物相、鳥類、チョウ類、ホタル類(以上ラインセンサス方式)、中・大型哺乳類(センサーカメラを使用)の5項目に加え、愛媛大学社会共創学部の渡邊ゼミのみなさんと人為的インパクトの項目として植生図を作成した。
- ・中・大型哺乳類のノウハウを利用して、八幡浜市と協働して、イノシシの撮影頻度の調査を継続中します。また、八幡浜市のセンサーカメラ4台の運用を委託で受け、継続中です。
- ・北上しているニホンジカの個体群の動向の調査を、中・大型哺乳類のノウハウを利用して継続中です。
- ・環境基本計画を作成している内子町の実施計画にかかわる調査に継続して協力しました。内容としては、平岡の柿原川でゲンジボタル、袋口の麓川でゲンジボタルとヘイケボタルの調査を行いました。
- ・特定非営利活動法人 内子未来づくりネットワーク(うちみづネット)が県生物多様性センターから委託された事業において、トンボの観察会の企画・運営の支援と講師を行いました。
- ・大きな榎の木の下で実行委員会より、内子町小田川における環境調査の委託を受け実施しました。調査項目は、鳥類、魚類、カニかごで、3/15(金)に住民の方向けに、調査結果を報告しました。

# 平成30年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

特定非営利活動法人 かわうそ復活プロジェクト

科目	実績	備考
<b>I 収入の部</b>		
<b>1 事業収入</b>		
自然・環境学習事業	303,964	
自然・公園管理事業	0	
自然修復・再生事業	0	
助成金申請事業1	400,000	三浦保「愛基金」
助成金申請事業2	0	セブン-イレブンみどり基金
助成金申請事業3	0	愛媛銀行エバーグリーン
八幡浜市委託事業	99,360	センサーカメラ調査維持関連業務
大洲市委託事業	0	肱川支所オシドリ関連調査業務
調査委託事業	150,000	内子小田川調査業務
<b>2 寄付金等収入</b>		
寄付金収入(法人)	0	
寄付金収入(個人)	41,600	
<b>3 雑収入</b>		
受取利息	3	
当期収入合計(A)	994,927	
前期繰越収支差額	826,030	
収入合計(B)	1,820,957	
<b>II 支出の部</b>		
<b>1 事業費</b>		
自然・環境学習事業	140,144	
自然・公園管理事業	0	
自然修復・再生事業	101,702	
助成金申請事業1	400,000	三浦保「愛基金」:事業中止で返金
助成金申請事業2	571,048	セブン-イレブンみどり基金
助成金申請事業3	0	愛媛銀行エバーグリーン
大洲市委託事業	0	肱川支所オシドリ関連調査業務
調査委託事業	120,000	内子小田川調査業務
<b>2 管理費</b>		
保険費	12,000	
消耗品費	14,215	
図書費	58,554	
会議費	34,205	
運営費	75,340	
当期支出合計(C)	1,527,208	
当期収支差額(A)-(C)	-532,281	
次年度繰越収支差額(B)-(C)	293,749	

(単位:円)

平成30年度の収支決算について監査したところ、会計帳簿、貯金通帳、現金、領収書等の処理が適正に行われていることを認めます。

31年4月23日

監査場所:法人事務所

会計監査 中田博史 

平成30年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 かわうそ復活プロジェクト

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金貯金			
現金 現金手許有額	4,802		
普通預金 伊予銀行／八幡浜支店	288,947		
流動資産合計		293,749	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			293,749
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			293,749

(単位:円)

平成30年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成31年3月31日決算

特定非営利活動法人 かわうそ復活プロジェクト

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金貯金	293,749		
流動資産合計		293,749	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			293,749
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		826,030	
当期正味財産増加額		-532,281	
正味財産合計			293,749
負債及び正味財産合計			293,749

(単位:円)

## 中期事業計画

特定非営利活動法人  
かわうそ復活プロジェクト

- ①自然観察を行う際に名前を知ることが親しみもつことに有効である。  
地域（南予）のかたが身近な生きものを見分ける道具となる地域限定の図鑑を少しずつ整備していく。
- ②住民みずから生きもののにぎわいを実感することが必要である。  
住民自らが、身近な自然を調べ、長期で見守るための手法を実地で行いながら学ぶ。

### 2019 年度事業計画（案）

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人  
かわうそ復活プロジェクト

#### 1. 特定非営利活動に係る事業

以下の事業を行う。

##### ① 自然・環境学習事業

- ・ 定例観察会（毎月）として、大洲城山で、第 2 日曜日に観察会を継続して行います。
- ・ 一般市民向けの勉強会として、「自然に学ぶつどい」を実施します。
- ・ 学校に向けて、総合学習などの自然体験活動の支援を行います。
- ・ 地域で行われる観察会に講師を派遣します。
- ・ 八幡浜市で開催される「青少年のための科学の祭典」に出展し、自然の不思議さ、大切さを普及します。
- ・ 「愛媛の身近な鳥図鑑 -山野編-」を出版し県下の小中学校、有識者などへ配布したので、昨年度から引続き残部を販売します。

##### ② 自然・公園管理事業

- ・ 行政関係からの公園等の保全に係る受託事業を受けられるように提案を行います。
- ・ 平成 23 年度に「堂ヶ谷トンボの里」の改修事業が「堂ヶ谷トンボの里をしらべる会」によって行われました。その事業後の管理作業に協力します。

### ③自然修復・再生事業

- ・「身近な水環境一斉調査」に協力するかたちで、河川等の水質調査を行い、再生事業などに役立てます。なお、身近な水環境一斉調査は 2004 年の第一回から継続して参加しています。
  - ・河川工事における生物救出作戦を実施します。
  - ・千丈川および喜木川・宮内川などの八幡浜市の河川の魚類の調査を継続して行います。また、小田川の魚類の調査についても継続します。
  - ・「肱川上流の魚図鑑」の作成に向けて、肱川上流の魚類の調査を継続します。ここでは、肱川上流を小田川合流部より上流部とします。
  - ・直翅目について、県 RDB にかかわっておられる方によると、八幡浜周辺はほぼ空白地帯となっているということなので、NPO 法人西条自然学校に委託し今川さんに調査していただく。三浦保愛基金に助成金を申請中。(注)
  - ・植物相について、後で検証できるように標本をもとにした調査は、八幡浜周辺で近年おこなわれていないということなので、「森からつづく道」に委託し橋越さんに調査していただく。三浦保愛基金に助成金を申請中。
- (注)
- ・私設保護区である「サンクチュアリどんぐり」の生物調査を実施し、ノウハウの蓄積をします。環境省の推進するモニタリングサイト 1000 の里地調査の一般サイトに登録して、植物相，チョウ類，鳥類，中・大型哺乳類の調査項目について 2009 年から調査を継続中です。2013 年から、植生図(人為的インパクト)とホタル類の調査項目を追加しました。さらにノウハウの蓄積を行います。なお、「堂ヶ谷トンボの里をしらべる会」が水環境とカエル類の調査項目を行っていますので、南予で里地調査のカヤネズミ以外の調査項目が行われています。
  - ・中・大型哺乳類のノウハウを利用して、八幡浜市と協働して、イノシシの撮影頻度の調査を継続します。また、八幡浜市のセンサーカメラ 4 台の運用を委託で受け継続します。
  - ・北上しているニホンジカの動向調査を継続します。
  - ・環境基本計画を作成している内子町の実施計画にかかわる調査に継続して協力します。主に、トンボ類の観察会とホタル類の発生状況の調査と、身近なサギ類とセキレイ類の調査に協力をします。
  - ・大きな榎の木の下で実行委員会より、内子町小田川における環境調査の委託があれば、継続して実施します。調査項目は、鳥類，魚類，カニかご。
  - ・タンポポ調査・西日本 2020 に協力します。愛媛実行委員会に加わり、南予北部を主に担当します。

(注)：日本農業遺産に登録されたが、そのレベルを維持するために、さらに世界農業遺産の申請に向けて、柑橘栽培が盛んな八幡浜市で、基礎情報となる直翅目と植物相の調査を専門家に行ってもらい、報告書や講演等で発表していただくとともに、調査ノウハウの収集を行う。

2019年度 特定非営利活動に係る事業 予算案

2019年4月1日から 2020年3月31日まで)

特定非営利活動法人 かろうそ復活プロジェクト

科目	金額	備考
I 収入の部		
1 事業収入		
自然・環境学習事業	50,000	
自然・公園管理事業	2,000	
自然修復・再生事業	2,000	
助成金事業(三浦保愛基金)	410,000	八幡浜における直翅目と植物相の調査 申請中
調査委託事業1	150,000	内子小田川調査業務
調査委託事業2	99,000	八幡浜市哺乳類調査
2 寄付金等収入		
寄付金収入	10,000	
3 雑収入		
受取利息	10	
当期収入合計(A)	723,010	
前期繰越	826,030	
収入合計	1,549,040	
II 支出の部		
1 事業費		
自然・環境学習事業	40,000	学ぶつどい等
自然・公園管理事業	2,000	
自然修復・再生事業	30,000	
助成金事業(三浦保愛基金)	410,293	八幡浜における直翅目と植物相の調査 申請中
調査委託事業1	120,000	内子小田川調査業務
2 管理費		
保険費	12,000	
消耗品費	15,000	
図書費	30,000	
会議費	20,000	
運営費	70,000	
3 予備費	799,747	
当期支出合計(B)	749,293	
当期収支差額(A)-(B)	-26,283	
当期支出合計	1,549,040	

(単位:円)